

プロジェクト契約締結署名式



2017年3月21日

3月21日、在キューバ日本国大使館・大使室において、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「ハバナ県アラマル・エステ地区リサイクル事業促進のための機材整備計画」、「ピナル・デル・リオ県小児科病院医療機材整備計画」及び「青年の島ココドリロ地区における含塩水脱塩造水装置整備計画」の計3案件におけるプロジェクト契約締結署名式が実施されました。署名式では各国際NGOの代表が出席し、在キューバ日本国大使館・渡邊優大使との署名が行われました。また、「ピナル・デル・リオ県小児科病院医療機材整備計画」の調達予定業者である信英インターナショナルの森口海外営業担当も参加されました。



「ハバナ県アラマル・エステ地区リサイクル事業促進のための機材整備計画」に関して、ハバナ県アラマル・エステ地区では、パッカー車の数が足りないことからゴミ箱の全てのゴミが収集されておらず、住民は不衛生な環境での生活を強いられております。本プロジェクトを通じて、国際NGO「オックスファム・キューバ」に対して130,138ユーロを供与し、日本製のパッカー車1台およびリサイクル機材の整備を行います。これらの機材を整備することにより、当地区の家庭におけるゴミの分別、資源ゴミのリサイクルを促進し、住民9,711名の衛生環境の改善に寄与します。



「ピナル・デル・リオ県小児科病院医療機材整備計画」では、同県にある小児科病院附属医療遺伝子センターに設置されている超音波診断装置の精度が良くなく、効率的且つ正確な母子の健康状態の診断の妨げになっております。本プロジェクトでは、国際 NGO「ハンディキャップ・インターナショナル・キューバ」に対して 110,465 ユーロを供与し、ピナル・デル・リオ県小児科病院附属医療遺伝子センターに、日本製の超音波診断装置 2 機の整備を行ないます。この機材の整備により、同県に住む年間約 2,000 人の妊婦及び胎児の健康促進に寄与します。



「青年の島ココドリロ地区における含塩水脱塩造水装置整備計画」について、井戸の水の塩水化が進んでいる同島ココドリロ地区では、同井戸から供給される不衛生な水のため住民の健康状態に影響を及ぼしております。本プロジェクトでは、国際 NGO「ムンドゥバット基金」に対して 141,426 ユーロを供与し、同地区における地下水が塩水化している井戸に日本製の含塩水脱塩造水装置 1 台を設置します。この機材の設置により、地区の住民 404 名に飲料可能な生活用水を供給します。



プロジェクト・サイト地図

ピナル・デ・リオ県

首都ハバナ

ハバナ県アラマル・エステ地区

青年の島



在キューバ日本国大使館

開発協力班

Tel:7-204-3355 Fax:7-204-8902

cooperacioneconomicsacuba@hv.mofa.go.jp



